

千葉医大昭和20年代の思い出

長澤 仁一

1. 「都クラブ」のこと

20年代の中頃だったと思いますが、生化学の降矢震講師の呼びかけで、「都クラブ」を復活させないか、と言う気運が盛り上がりまして、各教室がそれぞれ趣向をこらしてやることになりました。「都クラブ」とは、基礎教室のあった場所が元は都村があった所だと言う事らしいのです。薬理は、小林教授をはじめ、萩原さん、小杉君などが演劇をやったと思います。われわれ細菌学教室は、安村君の脚本でやはり演劇をやり、セットを作るのに苦労しました。次の年は、川喜田教授がピアノ・寺島君がセロ・バイオリンは習い始めた私と橋爪君で一応四重奏をやりました。会場は、本館講堂です。この翌年は、私の知り合いの寿司屋から、使わなくなった、付け台を借りてきて、ネタは河岸から仕入れてきてもらい、皆で寿司を握りましたが、私以外は握り方をしらないので、おにぎりの上にネタが乗っているようになり、とても人に食べさせられない、自分で食べろ、と言う事になりました。第一生理も何かやったように思います。なお、他所の教室へ飲みに行くのも恒例でした。

2. 「ダンス」のこと

昭和22年頃は、社交ダンスが盛んになった時代でした。東京には、有名ホールが10ヶ所位あり、それぞれ一流バンドが出ていました。われわれもダンスを始めようではないか、と話し合い、私・野上一・あと一人（名前を忘れました）の3人が、お茶の水のハンターと言うダンス教習所に習いに行きました。なにしろ、お金がありません。そこで、一人がタンゴ・私はブルース・もう一人がワルツをとワン・レッスンづつ習い、自分の番でない時は、一生懸命見て覚える。これを、4～5回通い、一応踊れることに決めて、大学で講習会を開こうと話し合い。学生食堂の広い部屋で行いました。だんだん人数も増え、学生ばかりでなく、臨床の教室員も加わってきましたので、パーティーを開こう、女性はどうする、大学の女性職員だけじゃ少ない、そこで目をつけたのは、当時新聞で「桃色学区」と言われた津田沼の女子学生でした。誰が呼んだのかは覚えていませんが、東邦女子理専・東洋デンタルの女子

学生が毎回20人以上来てくれました。本館講堂の床は、木が緻密に張ってあったので滑石を撒くと、上等のダンスホールに変わりました。この盛大なダンスパーティーが2年位続きましたが、講堂の使用が禁止されたため、終焉しました。

私と同級生の関俊之君は、血尿がでるほど練習して、全日本学生舞踏競技会のワルツで学生No. 3になりました。

3. 「基礎の自動車学校」

私は、昭和28年に自動車免許を取りました。そうすると、乗りたくなるのですが、車はありません。基礎の連中で免許を持っている者は誰もおりませんでした。私が取ったと言うので、自分も欲しいと言う人がでてきました。そこで、「私が教えるから、皆で金を出し合って一台手に入れようじゃないか、それで、練習して免許をとれば、教習所通いでお金を使わないで済む。」と誘ったところ、10人位集まり、5万円で1933年型のフォードを手にいれました。4気筒のオンボロフォードです。でも、故障せずによく動いてくれました。大学の構内は、道路ではないので、免許はいりません。自由に乗り回すことができます。構内の花壇の間をクランク前進・バック、また車庫入れ等、何でもできます。後は学科、これはお手の物です。千葉の試験場で免許をとるだけでした。しかし、本当の路上運転はしていません。そこで、免許をとった人を連れて、無事故祈願を兼ねて成田山にお参りに行ってくるのです。当時の千葉から成田への道は舗装でなく、ひどい道でした。帰りは、成田街道を東京の方へ向かい、（これもひどい道でした）途中から千葉街道（当時は、横はすぐ海でした）に出て大学坂を上り、帰着します。この往復で路上運転は完了です。そのうち、もう一台欲しいと、言いだす人がいて、しかしお金は無い。そこで、現在、杏林大名誉教授の渡部士郎君に（電気生理とも言われた第一生理に居た）頼み、秋葉原でカラーテレビのキットを安く買ってもらい、お手のものの電気の知識で組み立ててもらい、私の知り合いの自動車会社の社長の所へ持って行き、（当時カラーは、少なかった）ハイヤーあがりの中古の1935年型のパッカーと交換してもらっ

第1章 近年の歩みを俯瞰して

た。しかし、古くなった6ボルトのバッテリーでは、7,000ccのエンジンはかからず、2つのバッテリーを直列につないで12ボルトにして始動し、エンジンをふかしている間に、1個をはずすといった苦勞をして乗っていました。薬理学会では、送迎や連

絡に役立ち、小林教授に感謝されました。

まだまだ、話したい事は沢山ありますが、長くなりますので、今回は、この辺で筆を置きます。

(ながさわ じんいち)

(元ゐのはな同窓会長：平成12－15年)